

【お金の使い方 1消費2投資 について考える！】（経済学）

どうもゆうです！

さて、昨日は

【QE（ジャブジャブマネー）を再開しそうなアメリカFRB】

っていう号を流しました。

今まで数年間、ドルの健全性を復活させるための

QT引き締めを否定する動きですから

長期的に相場に変化が起こる内容ですから

この動きの変化は知っておきたいところですね～～

あとやはり長期的に金地金なんかは資産備蓄として

これからより大事になってきそうです。

さて、それで今日は

「消費と投資」について考えて生きてみたいです。

これは時々書きますが、お金の使い方には

1 消費 2 投資 しかないんですね。

これは経済学の話でもあります。

それで投資というと多くの方はFXとか株とかだけだと

勘違いしてしまってますが

実は違うわけです。

企業活動でも、またさらにミクロの個人の「自分で稼ぐ」

話でも基本的には一緒ですので

この辺を今日は考えます！

編集後記で！

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

PDFレポート

【QE（ジャブジャブマネー）を再開しそうなアメリカFRB】

⇒ http://fxgod.net/pdf/qe_america.pdf

PDFレポート

【なんか日本の物価がめっちゃ上がった気がする・・・という話】

⇒ http://fxgod.net/pdf/nihon_bukka.pdf

PDFレポート

【海外移住に英語は必須なのか？】

⇒ http://fxgod.net/pdf/iju_eigo.pdf

PDFレポート

【なぜ国は磯貝さんの10億円が3000万円になったところで
課税で潰しにかかったのか？を考える！】

⇒ http://fxgod.net/pdf/10oku_3000man.pdf

PDFレポート

【「情報」には「大衆情報」と「最高情報」がある？】

⇒ http://fxgod.net/pdf/saikoujouhou_taishujouhou.pdf

PDFレポート

【米韓合同軍事演習を終了させていくことをツイートした
トランプ大統領】

⇒ http://fxgod.net/pdf/beikan_tweet.pdf

PDFレポート【今週もガッツリ検証しましょう！】

⇒ http://fxgod.net/pdf/gaturi_kenshou.pdf

PDFレポート

【FX や株やビジネスの塾や教材で結果出す人がしてる事は何か？】

⇒ http://fxgod.net/pdf/kekka_dasuhito.pdf

PDFレポート

【日本の「うつ社会化」について考える！】

⇒ http://fxgod.net/pdf/japan_utushakai.pdf

PDFレポート

【貧乏なイケメンより金持ちのハゲの方がモテる2019年】

⇒ http://fxgod.net/pdf/rich_hage_moteru.pdf

PDFレポート【損きりできない問題】

現状維持バイアス+プロスペクト理論とは？

⇒ http://fxgod.net/pdf/genjou_bias_prospect.pdf

PDF【「パソコン開けるお気に入りのカフェ」を見つける重要性とは？】

⇒ http://fxgod.net/pdf/pc_cafe.pdf

PDF【トランプ大統領は

在韓米軍、在日米軍に「揺さぶり」をかけて行く】

⇒ http://fxgod.net/pdf/trump_beigun_yusaburi.pdf

PDFレポート【投資の資金管理において

「余剰」こそが「余裕」を生み出す！？】

⇒ http://fxgod.net/pdf/yojou_yoyu.pdf

PDF【「知本×資本＝金持ち」の公式について考える！】

⇒ <http://fxgod.net/pdf/chihon.pdf>

PDF【「休戦」状態になっている米中貿易戦争の

今後について考える！】

⇒ http://fxgod.net/pdf/kyusen_beityu.pdf

PDFレポート

【FXの「日足トレードのスタイル」について考える！】

⇒ http://fxgod.net/pdf/fx_hiashi.pdf

PDFレポート

【「稼げるようになった人が税理士を雇う必要性」について考える！】

⇒ <http://fxgod.net/pdf/zeirishi.pdf>

PDFレポート

【IT新時代のダブルスキル の話】

⇒ http://fxgod.net/pdf/double_skill.pdf

PDFレポート

【FXの検証で有利なのは自動売買トレーダーより裁量トレーダー？】

⇒ http://fxgod.net/pdf/fxsairyou_tuyoi.pdf

PDFレポート

【「めんどくさいFX検証」の工夫とは？】

⇒ http://fxgod.net/pdf/fx_kenshou10.pdf

PDFレポート

【北朝鮮の金正恩と「意図的に破談する演技」をした
トランプ大統領の思惑とは何か？を考える！】

(⇒日朝首脳会談シナリオ)

⇒ http://fxgod.net/pdf/nichou_shunoukaidan.pdf

PDFレポート【高確率で儲かるかも？動画学習】

「未来の2023年までの世界のGDP推移」を知る！

⇒ <http://fxgod.net/pdf/2023gdp.pdf>

★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

=====**編集後記**=====

さてさて、今日は「消費と投資」について考えて生きたいと
思います。

ずばりお金の使い方には経済学とかだと

1消費 と 2投資 しかないって言われてるんですね。

ちなみに、多くの方は 貯蓄（貯金）があるじゃないか、

って思うけどこの貯蓄もまた2投資になるんだけど

今日はその辺を考えて行きたいと思います。

ちなみによくメルマガで書いているのが

1 消費の割合を減らして

2 投資の割合を高めよう！

ってことなんだけど、

個人がどんな分野でも資本主義で成り上がるためには

やはりこれが大事な考え方です。

んでこれも 1 消費 と 2 投資のことを知ったら

よく分かる話です。

それで多くの方は「消費」と「投資」って言ったら

まあなんとなく違うものだ、くらいは分かるんだけど

明確にそれを意図して脳みその中で意識して

使っていないわけですね。

ちなみに私なんかは上記の **消費 と 投資**

についてはメルマガでやたら書いてるものありますが

厳密に区別してこの数年、ずっと認識してこの用語を

使って自身の生活でもお金を使う際に意識してます。

実際・・・多くの方は「稼ぎたい」と思うわけだけど

実は稼ぐために大事ななのは

「お金をどう使うか？」なんですね。

もつという**「お金の使い方の配分**で

1 消費 2 投資の割合をどのように設定するか

でその人の豊かさは変わるってのが経済学なんかの教える

真骨頂だと思います。

ちなみに経済学ってのはこう難しい感じなんだけど

実はこれからの時代もっとも大事な学問が経済学って

言われてます。

なんでか？っていうと

「経済学が機能するのは、資本主義ルールが

完全に整備されてから」

って言われてるんだけども

例えば資本主義の前提として「完全情報」ってのが

あります。

「全ての市場参加者が等しく、同じ判断できる情報を
持つてる状態」

が完全情報状態だけど

これはまあ今までは不可能でした。ネットが出てくる前は。

けどネットが出てきていよいよこの「完全情報に近い状態」

が近年中には出てくるといわれてまして

いよいよそこで資本主義が本格始動するってのが

日本が生んだ大思想家 故 小室直樹の言ったことです。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

ゆう PDF レポート

【インターネットの登場が「人類に初めての資本主義」をもたらす】

http://yuhfx1.com/pdf/capitalism_perfect_information1.pdf

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

それで資本主義の前提としては何度も書きますが

1 公的部門と

2 私的企業

が完全分離されてることでありまして、

例えば日本みたいにちょっと目立っただけで

私的企業が 公的部門の行政に行政処分食らったり、

さらには私的企業が生産活動するのに「許可」が必要なのは

資本主義ではない、

といえますね。

だから資本主義支持者からすると、

日本の役人行政は明確に「反資本主義」ということになる。

ただこれも長年そんな社会主義を続けていたら

もっと貧しくなるだけだから、

一度限界が露呈して、日本が追い込まれたとき

資本主義をなんとか導入していこうって話になりますね。

ちなみに資本主義には前期資本主義、後期資本主義

「純」資本主義とありますが

本来の資本主義とは「純」資本主義のことであるのだけど

「資本主義っぽく見せてるけど内情は

完全情報もないし、公的部門が私的企業を社会主義みたいに

支配してるし・・・」っていうのは前期資本主義とか

言いまして、日本が経済発展をなかなかできないのは

資本主義の段階が純資本主義じゃないからだ、

って一言で言えます。

それでこの「純資本主義」ってのが強くなる社会で

いよいよ今まで機能しなかったのに機能しだす学問が

経済学であるといわれていて、

その経済学では 特に 1消費 2投資の概念は

大変重要なんですね。

んでこれは企業活動だけじゃなくて

最近の「自分で個人が稼ぐ」ってのは

個人自体が企業になったようなものだから

やはり自分で稼ぐ主体の個人にも、

この知識は大事なんです。

それで、この1消費 と 2投資だけど

多くの人はなんとなくそれは違うけど

どう違うのか分かっていないので

明確に、それを頭の中で「認識、認知」するのが

大事ですね。

ここで金持ちになるかどうかは決まるとしても

過言じゃない。

それで「投資」といった場合、多くの人

FXとかバイナリーとか株とか・・・そういうのを

「投資」と言ったりしますが

厳密にはそれは経済学の俯瞰ふかん した見かただと

少しずれてるんですね。

ここの認識がずれていると、

ぶっちゃけ色々な収益機会を逃すことになる。

それです 1 消費なんですけども

この消費ってのは読者さんもイメージする感じで

スーパーでなんか食材買うとか

レストランで食事するとか

服屋さんで服を買うとか

美容院行っておしゃれに髪を切ってもらうとか

これらが消費に当たりますね。

ここにおいて大事な言葉が「効用」とかいう言葉ですけども

例えばスーパーで食材買えば食欲満たせますし

レストランで食事してもおいしいご飯で

食欲を満たせますし満足度も得られるし

服屋さんで服買えばそこでカッコよく、かわいく見える服を

着ることができて満足感を得られるわけです。

交通費をかけてタクシーに乗れば、

行きたい場所に楽チンに移動できるわけです。

すなわち、消費するのは「なんらかの満足」を得るために

行われるものでして、

これを「**効用**」と言いますね。

効用を得るために お金を使うことが消費です。

ちなみに大多数の人は効用を得るためだけにお金使うので

ほとんど消費して人生終わると言っても過言じゃないかも？

です。

それでじゃあ一方投資は？というと

これは前述した、株とかFXだけの話じゃないんですね。

経済学における「投資」って概念はすごい重要で

これはずばり

「将来お金を生み出すための支出」が投資です。

お金を出すことで何らかの満足度、効用を得るためではなく、

将来利益を出す

製品とかサービスとか、もしくは設備にお金を投じる行為、

これが「投資」です。

例えば自動車会社が 工場を作るだとか、

飲食店の店舗が売り上げ拡大をするために

新しい店舗を出店するために資金を投じるとか

それらの設備投資のことですよ。

例えば飲食店を開くためには

不動産借りたり、厨房機器などそろえたり

内装やデザインを色々準備したり、

またコンサルなんかを払う人もいるかもしれませんが

全てこれは満足、効用を得るためではなくて

「将来お金を生み出すため」であったりします。

将来の生産活動のためにお金を使うこと、

これが 経済学でいう「投資」なわけですね。

これを個人で当てはめた場合、

最近の個人のインターネットを使った

FX や株やインターネットビジネスなんかは

場所、事業所が必要ではないですが、

その代わり 「知識」ってのがひとつの重要な

設備に該当するようになってますので

個人の場合だと設備投資が「知識投資」になってくるわけですが

これらの講師さんに色々教わるための費用とか

それらも設備投資に性質としては非常に近いものですね。

それで上記の 1消費 と 2投資の違いが分かってくると

色々考え方が変わってくるわけですが

実際に 消費は企業会計だと

損益計算書上の支出になりますし、

投資は貸借対照表上の支出になるわけです。

なぜ投資が貸借対照表上の支出になるのか？というと

それが将来への支出、資産への支出であるからですね。

それで重要なのが、これらの設備投資への支出ってのは

「将来の売り上げ高を生み出す原動力」になるわけです。

だからその企業がどれくらいの金額、割合を

消費じゃなくて設備投資にまわしてるか？

ってというのは投資家からしたらかなり重要な情報になる

わけですね。

飲食店が例えば来年の出店のために

1割、2割の店舗増をするために一気に設備投資をしました、

となったら相当強気ですが

これが十分な需要があるとするれば

将来的にその新店舗の売り上げってのが来期の決算にも

反映されていくわけですし、

その企業はさらに増収増益となるわけです。

なので「新しい設備投資」ってのはその企業体の

今後の売り上げの原動力であるわけですね。

これは「個人」にもいえる話で、

個人の場合だとやはり上記の知識投資ってのが大きな

影響力を売り上げに持ちますが

ここでその個人という経済事業体が

その知識なり将来の生産活動のための

設備投資を多く行ってるようですと、

「来年くらいに一気に来るかもしれない」

という状態にはなるわけですね。

「自分で稼ぐ」って言いますが

これは結局 企業活動ってのを個人でやっていく

ってことでもありますから

この「個人」でもこの設備投資の大き

売上げの大きにつながるわけです。

それで逆にこの設備投資が減ってる状態、

企業でも個人でも設備投資が減ってる状態だと

長期では当然危険なわけですね。

将来の稼ぎの源泉がなくなってきたってということだから。

それで日本の場合は、大きく見るとこの設備投資が

すごい減ってますから、

やはり将来の成長は限られてるってのもいえるかも

しれませんね。

逆に何かあって一気に設備投資が日本全体で増えるような

ことがあったら大きなチャンスが到来ってことにも

なるわけですが、

今はまだその兆候は見えないのかなという感じです。

それでまたここで覚えておきたいのが

「貯蓄と投資」は一緒だってことです。

消費者のことを経済学で家計と言いますが

この家計では、多くの人がしてるように消費して

残りを貯蓄・貯金するわけです。

それでこの貯蓄の大半は銀行に預金されるわけですが

ただこの預金ってのは銀行の中にはほとんど

なかったりするわけですね。

その預金で色々と債券なり株なりが買われたり

また、本来の銀行業務である融資で

企業にお金が貸付されて、そしてその企業が

それを設備投資に使うわけです。

だから実際は預金してる人が預けたお金ってのは

店舗・工場なんかの設備投資だったり

労働者の給料になるわけでした

経済学なんかだと この貯蓄はさまざまなところを

經由するけど、最終的には主として、

企業を通じて設備投資に回っていくわけですね。

それで、日本人の貯蓄率ってのは20年前は
9%ほどあったけど今は2.7%で相当下がってるわけですから

そういう意味ではやはり設備投資が減っていく傾向だ、

ともいえそうです。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

個人がネットで稼ぐ時代に

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

ということで1消費 と2投資の違いをざっくり書きましたが

経済学が発展した時代ってのは

「個人がネットで稼ぐ」なんてことはありませんでしたから

それらは全く理論に組み込まれていませんが

これは資本主義で機能する学問だから応用が利くわけですね。

一応設備投資というのが投資の主体ということで

経済学では言われてるわけですが

すなわちこの設備投資が増えていけば将来の生産、売り上げは

あがっていくという話なわけですが

これは最近は何人でも同じなんでしょう。

経済学の話だと 「家計」と消費者を呼びますが

その「家計」と企業体が合体したようなものが

まさに今の「ネットで自由自在に稼ぐ個人たちの台頭」

なんだと私は見てますが

これは企業体ってのが数十人、数百人、中には数万人規模で

回ってる中で

個人は基本的には1人で稼ぐわけです。

ただ、資本主義のルールが適用されるのは企業だろうと

個人だろうと同じことですから、

個人でもこの1 消費 と 2 投資 の違いを

理解していくのは大事ですよ。

「来年度の売り上げをあげるために

どれくらいの設備投資をしていくかな？」

みたいな考え方が今の時代の「自分で稼ぐ個人」にも

大事になってくるってことです。

例えばFXやってる人ならば、

F Xで学べるライン分析だったりプライスアクションだったり

ダウ理論だったりさまざまな原理原則があるけど

それらを学べる教材への出費ってのは満足、効用を得るためではなく

将来の売り上げ（収益）をあげるための出費であるから

明確に上記の経済学の話でいうと

従来の企業が行っていた設備投資に該当します。

もしくは最近だと裁量の決済を自動化するE Aなんかが

ありますがそういう E Aなんかに出費するのも

これ設備投資の一環ですよ。

特に最近では知識が重要な社会にもなっているので

この知識への投資の大小で売り上げ、収益が大きく変化する

傾向が高いので

知識投資ってのは大事だけど

それは従来の企業が工場や店舗のために設備投資するのと

基本的には同じ投資になりますね。

将来の収益をあげるための効用を求めている

お金の使い方、であるから。

それでここで重要なのが、今までってのは

この家計ってのが消費を担ってきたわけです。

だから日々、私たちはどこかの飲食店で食事をするし、

服も買う、美容院にも行くわけで効用を求める

「消費」をするんですけど

同時にそこで経済学でいう

「企業」と同じ活動もするように最近

なってきたわけですね。ネットを通じて。

実際に、稼いでる個人だと、100人くらいの

従業員の会社より利益あげてる個人も最近はいっぱい

います。

なのでここに気づく必要があつて

従来は 法人の企業だったら「設備投資大事だな」って

意識は生まれやすいんだけど

ここで「個人で自分で稼ぐ」だとなつて家計の延長上で

考えてしまう人が多いわけだけど

ここでやはり 家計で普段の生活でも効用を求める出費

すなわち消費はするんだけど

同時に、投資も行うわけですね。

だから今の時代の個人で稼ぐ人ってのは

1消費 と 2投資 の割合を自分自身で

自らの考え方で、律して行って、

それでそれらの配分を決めるってのが成功要素として

究極的に大事になってるってことなんです。

ちなみに私なんかは1消費の割合はっていうと

もう5%未満が基本で時には2%未満ってのがありますが

それ以外は95%以上は投資に回すみたいな

状態を作ってますが

これは昔から意識していたことなんだけど

やはりトータルとして派手なものじゃないけど

増収増益がずーっと続いているんですね。

たぶん私が少し有利だったのは最初からこの

1消費 と 2投資の考え方を理解していたってのが

あって、

これは大学で学んだけど、

そこで「個人の時代だと1消費と2投資の割合で

2投資割合を引き上げていくのが大事だ」

って意識していたことだと思います。

たぶん多くの方は1消費と2投資ってしっかりした

概念がなくて

なんとなく消費して、

なんとなくよさそうなものがあったら投資して

っていう感じでなんとなく、なんです。

しかし

ここをもう明確に経済学の考え方で

1 消費と 2 投資しかないから

2 投資割合を引き上げる

と考えると、現代において

優位性は相当強いってことですね。

例えば「ある程度これを学べば、その後収益が発生しそうだな」

とかそんなものは結構あるわけです。

そこでなにか収益を上げるビジネスモデルでも

最近は工場とか店舗費用がかかるわけでもないの

ほとんど設備費用がかからないので

収益化できるわけですけど

すなわち 消費と投資で この投資割合を上げていくと

どんどん富のスパイラルが生まれる時代にはなってきたる

ってことですね。

ちなみに今の時代の特徴として 知識への投資が

そのまま収益にダイレクトにつながりやすくなってただけど

これは税務用語で PE 「Permanent Establishment」

っていうけど「恒久的施設」って意味で

事業所みたいなものです。

オフィスとかそういうもの。

従来はオフィス構えてそれで仕事ってのが当たり前でしたが

今はオフィスは世界中のカフェでOKなわけでした

オフィスも要らない。

また自動化のE Aなんか使えば人員もいらなくて

生産活動ができてしまうわけで

となれば従来は売り上げからそれらの設備投資分なりを引いて

利益が残ったわけですが

まるまる利益になる時代になってるわけです。

だからますます

1 消費 と 2 投資で

1 消費割合を小さくして

2 投資割合を高くする

ことの迫力が増してる時代だ、とも言えそうです。

ちなみに上に書きましたが投資っていうと

金融商品化されてる F X やら株やらバイナリーを

投資と思ってる人がいるけど

それらだけではなくて、

あくまで企業の設備投資なんかの

「将来の売り上げ高を生み出す原動力への出費」が

投資と言われるわけですから

こうやって大きく考えることが大事ですね。

例えばカフェなんかで講師の動画を学ぶっていう習慣がある場合

そのカフェ代なんかもこれは効用を求めているものではなく

「将来の売り上げ高を生み出す原動力」として使ってるわけだから

これは投資に位置づけられるかもしれません。

このように私たちは常に入ってくるお金はあると思うけど

そこで「**お金の使い方**」に気を配るとよいわけです。

そのお金の使い方において

1消費 と 2投資とあるんだけど

その2投資割合を引き上げていくと。

そして「**将来の売り上げ高を生み出す原動力**」になるものに

お金を使っていくというのが

IT使った新自営業者にとっては大事ですよ。

それで上記に書いた

2投資は貯蓄だって話も大事です。

貯蓄ができる人は稼ぐ才があるとも言われますが

それは投資が貯蓄だからです。

多くの人になかなか「効用の気持ちよさ」にやられて

消費を縮小できない中、

(この場合、大体見栄とかが強い人が効用を求める)

その人は貯蓄できてるわけです。

ただこの 貯蓄、貯金は問題で

それは銀行に結局投資してるのと一緒だから

そしてそれはどうしようもないレベルの金利しか

銀行は預金で提供してくれないから

そこで投資対象を変えていくってことをすればいいだけ

ですよね。

銀行に預金していても、なかなかその資産は増えないけど

そこで資産が増えそうな対象に

「将来の売り上げ高を生み出す原動力」に対して

資金を随時投下していくことをすればいいわけです。

そして多くの人は毎月1回くらい収入があるはずだけど

そこで消費割合を減らして、投資割合を引き上げていく

ってことをやれば

必然的にお金持ちになるわけですね。

「将来の売り上げ高を生み出す原動力」に対する出費を投資と

呼びますが

そこでも最初 まだまだ視点が甘いので

最初は良いものに 投資ができなかつたりするけど

何度もやればうまくなりますので

常に 1消費 と2投資の割合で 投資割合を高い水準で

保持してれば毎月挑戦できるわけでした

そこで投資もうまくなってきますから

必然的にそれが繰り返されると資産は増えていくってのが

分かりますね。

なのでこの1消費 と 2投資の経済学の意味を理解して

2投資の割合を引き上げていくってのが

これからの個人の本当の必勝法なのかな、と私は思います。

それでは！

ゆう

追伸 . . .

ちなみに多くの方は「ワンチャン狙い」をします。

けどこの「ワンチャン狙い」ってのは

一発で当てて億万長者狙いってやつだけど

その人は常に 1消費と2投資で 1消費の割合を

高い状態で 少ない投資金で何かに設備投資して

100倍、1000倍と当ててやろうとしてるわけです。

が、それ、運ですね。

必然的に資産を増やす方法ではない。

一方 1消費 2投資とあって 2投資割合を

高く維持している人の場合、

いくらでも投資チャンスがあって、将来の売り上げ高増加に

つなげられるわけでした

確率的には後者のほうが圧倒的に金持ちになる確率は

飛躍的に上昇するわけですね。

経済の原理原則に基づいてるから。

なのでお金を稼ぐためには

「お金をどう使うか」がもっとも大事なので

「お金の使い方」で富の差は生まれるものなので

お金を稼ぎたい場合、

お金の使い方における、

消費と投資の割合を考えるのが大事ですね。

それでは！

★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆

PDFレポート

【なんか日本の物価がめっちゃ上がった気がする・・・という話】

⇒ http://fxgod.net/pdf/nihon_bukka.pdf

PDFレポート

【海外移住に英語は必須なのか？】

⇒ http://fxgod.net/pdf/iju_eigo.pdf

PDFレポート

【なぜ国は磯貝さんの10億円が3000万円になったところで

課税で潰しにかかったのか？を考える！】

⇒ http://fxgod.net/pdf/10oku_3000man.pdf

PDFレポート

【「情報」には「大衆情報」と「最高情報」がある？】

⇒ http://fxgod.net/pdf/saikoujouhou_taishujouhou.pdf

★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆